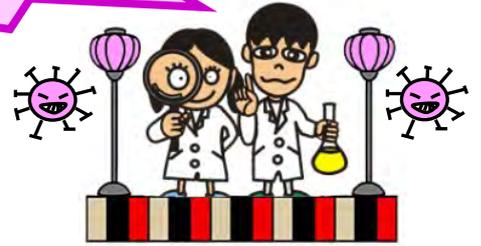


# 感染症に気をつけよう!

2017年【3月号】

## 横浜市内の感染症 流行状況

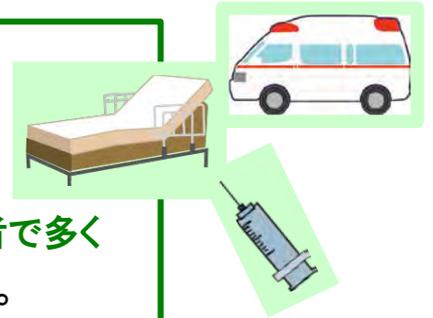


感染症	流行状況	説明
インフルエンザ	 大流行  減少	減少傾向ですが、まだ警報レベルです。 <a href="#">正しい手洗いと咳エチケット</a> を習慣にしましょう。【'17.2号】【Q&A】
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	 やや流行  横ばい	昨年と同様に、全国的に例年より多い状態です。最も有効な予防方法は、 <a href="#">ワクチン接種</a> です。【'16.6号】

## 今、気をつけたい感染症 インフルエンザ



- 市内の患者数は減って来ましたが、入院患者の報告は続いています。
- 肺炎や脳炎を合併したと考えられる重症の入院患者は、特に、小児と高齢者で多くなっており、重症化にも注意が必要です。



- 重症化のサインを見のがさないようにしましょう。
  - ✓ 呼びかけに答えない!
  - ✓ 呼吸が早く息苦しい!
  - ✓ 胸の痛みが続く!
  - ✓ 症状が長引き悪化する!
- などの場合は、すぐに受診してください。



- インフルエンザの流行は、まだ、しばらく続きます。もし咳や熱などの症状が出たら、咳エチケットを守り、早目に受診しましょう。
- 他の人にうつさないためにも、無理をせず、学校や仕事は休んでください。

